

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ
HONBETSU

2018
July
No.1077 **7** 月

表紙 約100人の参加者が、「ほんべつ豆まかナイト」で使う大豆の種まきを行いました



Pick up

- ✿ 第3期 健康ほんべつ21を策定しました
- ✿ 7・15本別空襲 この日を忘れない
- ✿ 運動会・体育祭が行われました
- ✿ ほんべつ健康ウイーク2018

栄養・食生活

“食べる”ことは健康の基本、毎日の食事で健康寿命をのばそう！

■具体的目標

- ①バランスよく食べよう
- ②減塩に取り組もう
- ③自分の適正体重を維持しよう
(BMI 18.5～25未満)

■今後の取り組み

- ・1日3食、食べよう
- ・食塩摂取量の目標値を知ろう
- ・自分の適正体重を知り、維持するように心がけよう

【町の取り組み】

栄養に関する情報を広報、健康管理センターだより等で発信します。食生活改善推進員と連携し、地域における食生活改善の啓発に努めます。



第3期 健康ほんべつ21

「すべての町民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」

※一部抜粋。詳しくは町ホームページをご覧ください



いつまでも自分の歯でおいしく食べられ、健康でいきいきと自分らしく生きる！

■具体的目標

- ①むし歯や歯周病予防の知識を身につけよう
- ②むし歯や歯周病予防の技術を身につけよう
- ③自分の口の中の状態を知ろう

■今後の取り組み

- 〔妊婦〕妊娠中の口腔ケアについて知ろう
- 〔幼児〕仕上げ磨きをしよう
- 〔学童〕小学校での集団フッ素洗口を受けよう
- 〔成人〕歯周病と病気の関係について知ろう

【町の取り組み】

- 〔妊娠期〕たまご教室〔幼児期〕乳幼児健診
- 〔学童期〕集団フッ素洗口奨励
- 〔成人期〕歯科検診

歯の健康

問い合わせ 健康管理センター ☎ 22-2219

身体活動・運動

楽しく体を動かし、心も体もすこやかになろう！積極的に体を動かし、健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりをはじめよう！

■具体的目標

- ①積極的に体を動かそう
- ②身体活動を増やし、適正体重を維持しよう

■今後の取り組み

- ・今より1,000歩(約10分)多く歩こう
- ・三日坊主を繰り返す気持ちで興味のあることからチャレンジしよう

【町の取り組み】

健康教育、相談、健診事後指導の場を活用して、運動に対する知識の普及を図ります。歩くことを推奨するために「お散歩マップ」を作成し周知します。

第3期 健康ほんべつ21 を策定しました



町では、すべての町民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現のため健康を増進し、病気を予防することに重点を置いた対策として「第3期健康ほんべつ21」計画を策定しました。

■計画の趣旨と概要

健康づくりは、住民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚を持つことが基本です。行政はこれを支援するため、地域に密着した保健サービスを提供し、住民が栄養・運動・休養の面で均衡のとれた健康的な生活習慣を確立しながら、健康寿命の延伸や生活の質の向上などを目的として、生活習慣病予防に取組むことが重要です。

健康ほんべつ21が目指すものは「すべての町民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会」です。健康を増進し、発病を予防する1次予防に重点を置いた対策として、第3期計画では「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯の健康」「こころの健康づくり」の4分野を重点項目としています。

■計画の期間

平成30(2018)年度から平成35(2022)年度の5年間

■計画の位置づけ

第6次本別町総合計画、銀河福祉タウン計画など関連計画との整合性を図ります。さらに北海道・十勝圏域の同計画を参考に、活動目標や数値目標を設定します。

■健康づくりの推進体制

町の保健福祉施策の意見反映や事業評価などを行う町民組織「健康長寿まちづくり会議」において、取り組みの進捗状況の確認や促進のための検討、協議を行います。

また、歯の健康分野は「本別町歯科保健検討委員会」で検証を行い、事業を推進します。

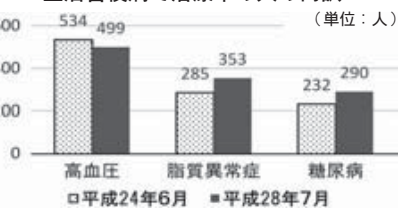
◆本別町の疾病等の状況

◇生活習慣病

本別町では高血圧の治療者が他の疾病と比べても圧倒的に多く、近年では脂質異常症と糖尿病での治療者数が増加しています。これらの生活習慣病は動脈硬化による障がいや引き金となるため注意が必要です。医療費が高くなる人工透析や心疾患、脳血管疾患を予防することが重要です。

予防できる病気は早期の生活習慣改善で発症を抑えることにより、将来的には健康な人が増加し、無駄な医療費を抑制できます。何歳になってもいきいきと過ごすために、子どものころからの生活習慣が非常に大切です。食生活や運動により、健康を守ることができま

生活習慣病で治療中の人の内訳 (単位:人)



肥満者(BMI 25以上)の推移 (単位:%)



BMIとは?

体格指数などと呼ばれ肥満度を表す。BMIが25以上は肥満。
BMI = [体重(kg)] ÷ [身長(m)の2乗]

7・15 本別空襲 この日を忘れない

— 平和を語りつぐための事業を開催 —

太平洋戦争末期の1945（昭和20）年7月15日、本別町を襲った町史最大の惨事「本別空襲」。この日の悲しみと、そこから立ち上がり現在の町を築き上げた先人たちの努力を、私たちは忘れてはいけません。



戦闘機グラマンヘルキャット F6F

本別町に来襲した飛行機は、アメリカ海軍のグラマンアベンジャー、グラマンヘルキャット、ヴォートコルセアなどで、上浦幌方面から飛んできて、爆弾の投下や機銃掃射を繰り返しました。



空襲により燃え上がる本別市街（中心街の3分の2が焼失）

「前日からの北海道空襲

1945（昭和20）年に入り、戦況は悪化し、日本各地で都市を中心に、空襲が激しくなりました。それまで空襲を受けなかった北海道も、7月14日、兵器生産基地であった函館、室蘭、根室、釧路などが攻撃され、15日と両日で太平洋側を中心とする78市町村で、約2000人の命が失われました。

十勝最大の被害

7月15日午前8時ごろ、雲の切れ間となった本別上空に43機の米軍機が来襲し、約50分の爆撃が始まりました。十勝では帯広、池田、音更、浦幌などでも死亡者が出ましたが、本別の40人が最大の被害となりました。特に市街地中心部（現・北3、北4、北5丁目）および開成橋（現・本別大橋）付近では、幼児を含む34人が亡くなっています。



本別空襲

資料館企画展

七月十五日日本別空襲を伝える

— つなごう平和への願い —

期 間
7月1日(日)～8月31日(金)
※月曜・祝祭日休館

開館時間
午前9時～午後4時
(土日は午後3時まで)

会 場
歴史民俗資料館 **入場無料**



「本別空襲」の歴史を伝える企画展が、今年20回目を迎えます。1995（平成7）年の戦後50年をきっかけにスタートし、その後は2000（平成12）年から毎年夏の展示として、さまざまなテーマで開催してきました。

この節目にこれまでの取り組みを振り返り、空襲被害から立ち上がった本町のあゆみとともに、平和の大切さを未来へとつないでゆきます。ぜひ、ご来場ください。

本別高校ミニ移動展

とき **7月7日(土)～8日(日)**
ところ **本別高校（本高祭会場）**

今年も「本高祭」会場で、生徒や来校者の皆さんに同校の大切な歴史でもある「本別空襲」を伝えるため、歴史民俗資料館の資料を一部展示します。73年前空襲によって殉職された当時の山内教頭や、かつての校舎の写真など、本別高校にまつわるミニ展示です。「本高祭」ご来場の折にはどうぞご覧ください。



昨年のミニ移動展

企画展・移動展の問い合わせ 歴史民俗資料館 ☎22-2141(内線410)・図書館 ☎22-5112

本別町戦没者・戦災死没者追悼式

とき **7月15日(日) 午前10時**
ところ **ふれあい交流館（向陽町）**

本別町では、日清・日露・第二次世界大戦の戦役で299人が戦死され、本別空襲において40人の尊い命が奪われています。追悼式では、黙とう、追悼のことは、献花などによって、犠牲者のご冥福をお祈りしますので、多くの町民の皆さんの参加をお願いします。また、黙とうを呼び掛けるサイレンが午前10時05分ごろに吹鳴されますので、一緒に黙とういただきますよう、重ねてお願い申し上げます。



昨年の追悼式

追悼式の問い合わせ 保健福祉課社会福祉担当（総合ケアセンター内） ☎22-8520

5月号からスタートした「シリーズ地方創生」。現在、本町におきましては、今後の人口減少に対応すべく、本別町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、さまざまな事業や取り組みを進めています。

2回目の今回は、4つの基本目標のうち、「本別の特性に磨きをかけ、新しい人の流れをつくる」目標についての数値目標や成果指標の達成状況等についてお知らせします。

※地方創生に推進にあたっては、平成27年10月に策定した総合戦略に基づく数値目標や検証時の参考となる重要業績評価指標（KPI）を参考としながら、施策や事業効果等の検証による推進方策の改善を図りつつ、着実に推進することが重要です。

重要業績評価指標（KPI）の進捗・達成状況

基本目標1に掲げる「本別の特性に磨きをかけ、新しい人の流れをつくる」取り組みでは、本町への移住促進や、本町の地域資源を生かした交流人口の拡大につなげるための取り組みを中心に推進してきており、これまでの取り組みが反映される重要業績評価指標についての実績や達成状況については、以下のとおりとなっています。

なお表中、最右列の達成度のアルファベット表示は、目標指標に対する達成状況の目安として、A：目標値達成、B：目標値の7割以上達成、C：目標値の5割以上達成、D：目標値の5割未満達成の区分により表示しています。

重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicatorの略称
施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう

主な施策項目	重要業績評価指標（KPI）	目標値 (平成31年度)	実績値		達成度	
			(上段H28)	(下段H29)	(上段H28)	(下段H29)
1. 特色ある観光の振興	観光客入込数 (本別公園エリア内)	18万人	15万人		B	
	観光客入込数 (道の駅)		14万人		B	
2. 観光による交流・集客の推進	イベント客入込数	4万人	34万人		A	
			34万人		A	
3. 移住の推進	移住相談件数	35件 (5年累計)	3.8万人		B	
			3.5万人		B	
	お試し移住体験者数	15件 (5年累計)	48件		A	
			147件		A	
		2件		D		
			10件		A	

各施策のKPIについて平成28年度は、2項目が「A、目標値達成」、2項目が「B、目標値の7割以上達成」、1項目が「D、5割未満の達成」となりました。

また、平成29年度は、3項目が「A、目標値達成」、2項目が「B、目標値の7割以上達成」となりました。

「A、目標値達成」となったKPIのうち、「観光客入込数」について、釧路圏から本町までの高速道路開通による利点を活かし、今後も道の駅などを本町の観光・グルメ等の情報発信の拠点として、機能の充実を図っていく必要があります。

「D→A」となった「お試し移住体験者数」については、移住定住の実現のためには、まずは本別町に来てもらい、まちの暮らしを体験し、地域の良さを知ってもらうことが大切です。

平成29年度に市街地区に1週間から1か月滞在可能な家財道具等を設置した住宅1棟を利活用し、移住体験の機会創出が図られました。



山手町：中期（1か月以内）お試し住宅

数値目標の達成状況

基本目標2 本別の特性に磨きをかけ、新しい人の流れをつくる

○本町の魅力や住みやすさなどの情報を町内外に発信するとともに、地域産業の振興と雇用の安定と創出を図りながら本町への就職や居住を推進し、U I Jターンや移住を促進するため、受け入れやサポート体制の充実を図る。

○地域の特性や潜在力を磨き、対象に合わせた戦略的かつ効果的なプロモーションを推進し、本別町への新しい人の流れをつくり、交流人口の拡大を図る。

(計画時) 数値目標	平成31年度	①移住者数 〔町の窓口サポートによるもの（転勤除く）〕	②観光入込数
		(5年間累計)	20人

基準値	平成26年度	2人	47万人
実績値	平成27年度	2人	50万人
	平成28年度 (平成27～28年度)	6人	53万人
	平成29年度 (平成27～29年度)	19人	52万人
達成度 ※2		B	B

※2 達成度の目安 A：目標値達成 B：目標値の7割以上達成

数値目標「移住者数」については、順調に推移しておりますが、首都圏等から地方への新しい人の流れをつくり出すため、本別町、足寄町、陸別町が連携して、移住希望者への必要なサポートを行う「とちろね移住サポートセンター」を平成28年7月開設し、情報発信や移住相談、受け入れ対応などを3町圏域が一体となった取り組みを推進しています。また、各種支援制度などの創設により、新規就農や介護人材の確保、障がい者の雇用を確保するなど、更なる移住促進へとつなげていきます。

「観光入込数」については概ね順調に推移しており、本別公園や道の駅などの機能向上や新たな魅力づくりに取り組んでいます。本別町の認知度向上やイメージアップにつなげ、交流人口の拡大から町内への人の流れの創出を図って参ります。



事業所訪問、情報収集の様子

地域おこし協力隊として移住定住推進を担当している横山泰平です。昨年の7月に着任してから1年が経過しました。高校まで本別町で過ごしたこともあり、町民の皆さんに声をかけていただく機会も多く、生まれ故郷「本別」での生活を実感しています。今回は地域おこし協力隊としての活動の一端を紹介します。

地域おこし協力隊が行く



Part 4

十勝東北部移住サポートセンターは、本別町、足寄町、陸奥町の3町で運営しており、私は事務局長として本町への移住促進を図るため、移住希望者に向けた3町の求人や住宅情報を収集し発信しています。また、移住を希望される人の発掘を行うため、3町の担当者や関係者と連携し、首都圏で開催される移住フェア等に参加し、まちの様子や暮らしぶり、自然環境の素晴らしさを紹介して移住へのきっかけづくりを行っています。その他の業務としては、サポートセンターの運営に係る事務処理、移住希望者向けの体験住宅の維持管理、お試し暮らしへのサポート等、体験生活をもてなすさまざまなことに取り組んでいます。移住促進を図るために収集した住宅等の情報は、移住サポートセンターのホームページに掲載しており、いつでも気軽に見

とち東北移住サポートセンターの活動

「地域おこし協力隊」移住定住推進員の横山泰平さんが、その取り組みについて、紹介します。

移住定住の取り組みを進めるにあたっては、移住者の活動の中にヒントがあります。3年前に移住してきた谷口まどかさんは、本別町の特産品の「豆」を使用し、食を通じた取り組みを実践されています。豆の町をアピールした楽曲「豆なアナタに首ったけ」の完成を記念して札幌で開かれた「豆料理



移住者との交流

移住者との交流

ることができそうです。町内の皆さんの活用もお待ちしています。

地域への参画

移住対策を進めるにあたって、町内で活躍するさまざまな人とのつながりをつくり、町の活性化のため地域活動を実践していくことが大切と考え、商工会青年部に加え、これまで「豆まかナイト」や「つじ祭りの運営、高齢者文化祭の協力など、多くの行事に参加してきました。5月には、豆まかナイトに使う大豆を栽培する「まぐ豆つくる」プロジェクトに、主催する商工会の青年部や町内の子供たちなど総勢100人ほどが参加。来年の「豆まかナイト」当日には多くの人が参加していただき「日本一の豆のまち」を盛り上げ、町内外に発信することで、移住推

問ごひび

企画振興課 地方創生推進室
☎22-8121
とち東北移住サポートセンター
☎33-0001
ホームページ
<http://www.akinavi.net/>



まぐ豆つくるプロジェクトに参加

最後にになりましたが、今後も本別町の良さを積極的に発信し、人とのつながりを大切にしながら町の活性化に向け、いろいろな活動に励んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。



本別高校からのお知らせ

北海道本別高等学校(弥生町49番地2) ☎22-2068

詳細については、ホームページでご確認ください

<http://www.honbetsu.hokkaido-c.ed.jp>

本高祭で生徒の頑張る姿をご覧ください！

7月7日(土) 1日目

- 仮装パフォーマンス(役場前駐車場) 正午～午後0時50分
- 合唱 午後2時30分～午後3時10分

7月8日(日) 2日目

- 演劇 午前9時20分～午前11時
- バザー 午前11時30分～午後2時30分
- 特別芸能 午後1時10分～午後2時30分

※タイムテーブルが変更となる場合があります

第76回本高祭

7月7日(土)・8日(日)開催!



本高・進路 Quest(クエスト)

7月12日(木)開催!

本別高校では、昨年度に続き高校卒業後の進路を考えるイベント「本高・進路 Quest(クエスト)」を開催します。開催当日は、大学や短期大学、専門学校、専門学校の担当者や、専攻や学校別進路ガイダンスのほか、今年進路ミュージカルも行われます。また、保護者対象の学校別進路ガイダンスや奨学金に関する講演会には、どなたでも参加可能です。中学生のお子さんを持つ保護者の皆さんも、お気軽にご参加ください。



進路イベントメニュー

高校生(中学生)向け

- 職業別・模擬体験授業 午前9時40分～午前11時30分
- 進路ミュージカル 午前11時40分～午後0時40分
- 学校・企業別進路ガイダンス 午後1時30分～午後3時

保護者・一般町民向け

- 学校別進路ガイダンス 午後3時30分～午後6時
- 講演会 「子どもを進学させるお金の話(仮)」 講師 久米忠史氏(まなびソード代表) 午後6時30分～午後8時

伝統ある本別高校を町全体で応援していくために
本別高校の支援の輪を広げる町民の集いを開催します

とき 8月8日(水) 午後7時～

ところ 中央公民館大ホール

主催 町・教育委員会・本別高校の教育を考える会

問い合わせ 教育委員会 管理課 ☎22-2331



仙美里小学校大運動会 ~保育所・小学校~ 6/2



テーマ
「みんなで
流したあせが
勝利をつかむ」

GI人間バンパ



ダンシングヒーロー



児童対青年部綱引き

本別中央小学校運動会 6/2

スローガン 「最後までチームワークを大切に、勝利をつかみとれ！」



キラキラ☆やってみよう！



渡って、奪って、おつかれ様



駆けぬける！高学年リレー



みんな輝け！組体操



よさこいソーラン2018

認定こども園ほんべつ 6/16



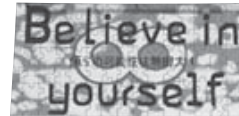
玉入れ



大玉ころがし



パラバルーン



2018 運動会・体育祭

子供たちの笑顔がはじけた、地域の一大イベント運動会・体育祭。グラウンドでは元気いっぱい競技に取り組む姿があふれ、たくさんの感動が生まれました。

本別中学校体育祭 5/26

テーマ 「Believe in yourself
～俺らの可能性は無敵大～」



開会式



学級対抗全員リレー



組対抗綱引き



チームジャンプ

勝利を目指して

今年も5月下旬から6月上旬にかけて、町内小中学校グラウンドで運動会・体育祭が、また6月中旬には認定こども園ほんべつで運動会が開催されました。この日のために一生懸命練習を重ねてきた子供たちは、運動会・体育祭のテーマ・スローガンのもと、個人・団体種目に真剣に取り組み、勝利を目指しました。各会場には、応援に訪れた家族や祖父母、子供たちの声援が響き渡り、趣向を凝らした競技内容に、グラウンドに集まった全ての人が楽しい一日を過ごしました。

勇足大運動会 5/26

～保育所・小学校・中学校～

テーマ 勇足小学校「つなげよう！夢と希望のバトンパス」
勇足中学校「Over the Top～25人で今を越えろ～」



コロコロまるちゃん



全校リレー



フォークダンス



応援合戦



12人13脚

ほんべつ健康ウイーク2018

運動の実践により健康な心と体を養う活動強化週間として、「ほんべつ健康ウイーク2018」が5月28日から6月3日までの1週間、町内全域で開催されました。



ほんべつ健康ウイーク2018

①早朝ラジオ体操 ②腰痛予防運動講習会 ③豪華景品! ディスカン大会 ④太陽の丘パークゴルフ大会 ⑤神居山と諏訪山に登ろう! ⑥子育てママのためのリフレッシュ講座「骨盤ケア」 ⑦みんなで貯筋!! ⑧マチプラ歴史ウォーキング

無料開放された体育施設を2,183人が利用

気軽に運動に取り組む機会の提供と、運動の日常化に向けた健康のきっかけづくりを目的として前年度よりスタートした「ほんべつ健康ウイーク」。期間中は屋内外すべての体育施設が無料開放されたほか、町や体育協会などが主催する健康にちなんだイベントが開催され、町内外から計685人がイベントに参加し、計2,183人が体育施設を利用しました。また、同ウイークの関連事業として、産後子育て期の女性を対象にしたリフレッシュ講座や、食と健康がテーマの講演会、さらには街並みの移り変わりを写真や説明で体感するウォーキングなどに取り組み、参加者は体力向上や健康づくりについて意識を高めました。



⑨ふまねつとガンバールン体験会 ⑩柔道体験会 ⑪親子テニス教室 ⑫ゲートボール大会 ⑬弓道体験教室 ⑭バスケットボール体験交流会 ⑮勝毎杯ミニバレー大会 ⑯バドミントン体験会

歴史写真館 @ほんべつ

川は大昔から貴重な交通路でしたが、対岸への大きな障がいでもありません。明治30(1897)年ころから、本別町には10か所の渡船場(渡し舟の発着所)があり、多くの人々の足として利用されました。利別川に官設の渡船場が開設されたのは、明治35(1902)年。本別と美里別を結ぶ通路ですが、10年後には橋の姿を変えてゆきます。「歴史写真館@ほんべつ」4回目は、明治時代の最終年。現在も町の交通の要である本別大橋の今昔を、明治の写真と昭和の橋名板を通してお伝えします。



① 開成橋渡橋式 (明治45年撮影/歴史民俗資料館所蔵)



② 昭和29年12月に完成した本別大橋



③ 橋名板

歴史民俗資料館
問合わせは
図書館 (☎22-15112)

④ 明治45年

利別川に初めての橋 開成橋渡橋式

本別大橋は、幅5・5m、長さ227・5mで、当時十勝管内でも有数の長大橋でした。その橋のたもと4か所に設置されていた橋名板が、今も歴史民俗資料館に残っています(写真③)。漢字とひらがなの橋名が各1枚、竣工年月が記されたもの2枚の計4枚。これら金属板はずっしりと重く、風雪にじっと耐えながら、橋とそこを通る人々を守ってきたかのようです。

アイヌの人々がその恩恵に感謝して「アコロ・ポロベツ」(われわれの親なる川)と呼んだ利別川。そこに架けられた橋にも、脈々と続く物語が刻まれています。

威風堂々と演習を披露 5 20

本別消防団（伊藤英昭団長）第1分団の消防演習が5月20日、河川運動公園芝生広場などで行われ、消防団員22人と消防車両3台が出動しました。同広場で機械器具の点検や小隊訓練などを行った後、役場側の広場へ移動し、一斉放水を実施。団員は力強い号令に合わせてキビキビと動き、日ごろの訓練の成果を披露しました。



図書館でワクワク本探し 5 22

本別中央小学校（山川修校長）の2年生39人が、5月22日、図書館の本の検索方法を学ぶ体験学習を行いました。図書館職員から本の種類や並び方のルールについて説明を聞いた後、2人一組になって「本探検クイズ」に挑戦。それぞれが問題用紙を手に、書架から目的の本を探し出しました。児童らは「たくさんの中から2冊を見つけるのは難しかったけれど、とても楽しかった」と笑顔で語り、この体験は、読みたい本を自分で探すための第一歩となりました。



お部屋に虹色を 5 19

生活に彩りを添える「きらめき講座」（全7回）が5月19日、中央公民館で開講しました。今年度1回目となる講座では、お部屋に太陽の光を虹色に取り入れる「サンキャッチャー」作りに、主婦など10人が参加。講師のアドバイスのもと、参加者は完成のイメージを膨らませながら、ビーズやパワーストーンを選び、思いおもいの作品を制作しました。繊細な作業に黙々と取り組んでいた参加者は、完成しキラキラ揺れ動く作品に笑みがこぼれました。



鬼退治用の豆育てます 5 20

本別町商工会青年部（池田圭吾部長）とJA本別町青年部（助川高幸部長）が主催する、豆まかナイト用大豆を作付けする「まく豆作ろうぜプロジェクト」が5月20日、共栄地区の畑で行われました。今年で2回目となるイベントには、子どもや保護者など約100人が参加。農協青年部の指導のもと、ペットボトルを使い穴の深さや間隔に気をつけながら、約200㎡の「鬼退治専用大豆育成地」に手作業で種まきをしました。育った豆は10月ごろ収穫されます。



今年度は児童数31人でスタートしました。みんな仲良し、いろいろなことに積極的に一生懸命取り組む子供たちばかりです。子ども同士、教職員、そして、地域・保護者の皆さんが、笑顔で温かくふれ合う姿がたくさん見られます。その中のいくつかをご紹介します。



4月23日 避難訓練（火災想定）
避難後、消火器による消火訓練を体験しました。



4月27日 1年生を迎える会
上級生がアイデアいっぱいの演出！くす玉が割れるのを待ちわびる瞬間…。



5月8日 全校外回り清掃
タテ割り班で小さなゴミも逃さず拾いました。上級生の働き者ぶりはさすが！



学 校 指 す 像

**子どもも教師も輝く
「活力ある学校」**

各学校の手作りページ

HELLO
仙美里小学校

校長：東森 誠記 児童数：31人
教職員：13人 P T A 戸数：23戸



4月9日 入学式
今年度は5人の1年生が仲間入りしました。ひとりひとりごあいさつもできました。



4月13日 はじめての給食
1年生が楽しみにしていた給食です。とてもおいしくいただきました。



4月18日 外国語授業開始
マイネーム イズ ～、もうノリノリ！
インターナショナル仙美里スクール！

たくさんのボランティア ありがとうございます

本別公園に ツツジ30株を植樹

5/23

本別町商工会女性部（新津直子部長）の部員6人が5月23日、本別公園内で植樹作業を行いました。これは同女性部が「心にやさしい新風景づくり事業」として平成8年にスタートし、毎年本別公園内に植樹活動を行っているもの。23回目の取り組みとなる今年はエゾムラサキツツジ30株を植え、部員らは景観整備に汗を流しました。



通学路がきれいに

6/4

鹿島組（鹿島豊隆社長）の作業員5人が6月4日、環境整備事業として本別中央小学校内および周辺の通学路の草刈り作業や支障木の伐採を行いました。これは地域貢献事業として子供たちの安全・安心を守ろうと毎年行われているもので、通学路はきれいに整備されました。



まちをピカピカに

6/2

勇足元町子供会によるゴミ拾いボランティアが6月2日、同地区で行われました。はじめに吉田慎太郎会長が「勇足のまちをピカピカにしましょう」とあいさつし、参加した小学生8人と保護者6人は国道沿いの歩道や勇足地区公民館周辺などを歩きながら、空き缶やタバコの吸い殻などを拾いました。



農大生が32.195kmを力走

5/25

北海道立農業大学校（山黒良寛校長）の第51回体力練成（強歩）大会が5月25日、町内で実施されました。同大会は、精神力と忍耐力を養い、お互いの親睦と交流を目的に毎年この時期に開催され、学生や職員ら130人が参加。参加者は32.195kmのコースに設けられた13か所のチェックポイントをそれぞれのペースで通過し、ゴールを目指しました。



ラグーマンたちが 本別に集結

5/27

第5回ラグビー祭り（十勝クラシックラグーズ主催）が5月27日、太陽の丘多目的広場で開催され、帯広、美幌、遠軽などから小学生や社会人など約140人が参加しました。この日は開会式が行われた後、小学生が低、中、高学年に分かれ、ラグビースクールがスタート。低学年の部ではタグラグビーが行われ、腰につけたタグを相手に取られないよう走りながらボールを奪い合い、大人顔負けの試合を繰り広げました。



在宅福祉ネットワーク会長に 小泉勝利さんが就任

5/25

町内で小地域ネットワーク推進活動を実施している35自治会で構成された町在宅福祉ネットワーク連絡協議会の平成30年度総会が5月25日、津村会館で開かれました。総会では、平成29年度の事業報告や収支決算報告が事務局よりされ、平成30年度の事業事業計画と収支予算を審議。承認後、役員改選が行われ、会長に小泉勝利さん（北7丁目）が就任しました。小泉会長は、「高齢者などを地域ぐるみで支援するため、皆さんの協力をいただきたい」とあいさつしました。



町の情報を広報欄に掲載したい方はお問い合わせください 011-812-1121

後納制度についての問い合わせは、
日本年金機構「ねんきん加入者ダイヤル」へ
057-701-0003-0004
（札幌から011-666-0000-0572）
申し込みは、帯広年金事務所
011-812-1121
詳しくは、住民課で籍年金担当
011-812-1121

【参考】平成30年9月までの
後納保険料額（月額）

	後納 保険料額	当時の保 険料への 加算額
平成25年度	15,580円	540円
平成26年度	15,590円	340円
平成27年度	15,760円	170円
平成28年度	16,260円	加算なし

申請方法
次のものをお持ちになり、住民課戸籍年金担当窓口または帯広年金事務所まで申請してください。
・マイナンバーカードまたは通知カードと本人確認書類（免許証など）
・年金手帳または基礎年金番号通知書・印鑑

注意事項
・平成27年度以前の後納保険料には、当時の保険料額に加算額が付きます
・後納が可能な期間のうち、最も古い分から納めていただきます



国民年金保険料は、納付期限から2年を過ぎると時効により納付することができなくなります。
しかし、過去5年以内に収められた国民年金保険料を納めることができる「後納制度」が、平成30年9月までに限り、実施されています。

後納制度を利用できる人
① 20歳以上60歳未満で、5年以内に年金保険料の納め忘れの期間や未加入期間がある人
② 60歳以上65歳未満で、①の期間の他に任意加入中の期間に納め忘れがある人
③ 65歳以上の人で、老齢年金の受給資格がなく任意加入中の人
※ 60歳以上で、老齢基礎年金を受け取っている人は申し込みできません

国民年金保険料
の後納制度は
平成30年9月まで！

その195

国民年金
コトカタハシ

町中がたくさんの花でいっぱい

町内の自治会や各種団体などが、町中をキレイな花で飾り、道行くドライバーや来町者、町民の皆さんの目を楽しませています。



町自治会連合会（北谷和雄会長）主催の花いっぱい運動において、国道242号線沿いや公共施設周辺などの花壇にマリーゴールドなど6280株の花が植えられました。また南4丁目自治会、仙美里元町自治会、共栄自治会の会員が、帯広開発建設部の補助を得て国道242号線沿いの花壇でサルビアなど4948株の花を植えました。

南4丁目自治会



仙美里元町自治会

南3丁目自治会



市街地婦人会（橋本文子会長）の会員ら29人が、十勝東北部銀河の里づくり協議会などの補助を受け、道の駅「ステラ★ほんべつ」西側ロータリーの花壇の整備を行い、ペゴニア700株を植えました。

6/4



J A本別町女性部（細田友子部長）の部員ら約40人が、同青年部などの協力のもと、本別大橋から本別高校までの通学路にマリーゴールドやペゴニアなど約750株の花を植えました。

6/6



病院ボランティアおよび母子寡婦会（伊藤陽子会長）の会員など約20人が6月10日、町国保病院前花壇の花植えを行いました。花壇にはマリーゴールドやコスモスなど800株が植えられ、待合室からも彩りよく見えるようにきれいに植えられました。

6/10



野田組（野田仁社長）の社員8人が6月21日、町体育館から歴史民俗資料館前の花壇にペゴニアやマリーゴールドなど、約800株の花を植えました。

6/21



居住支援への取り組みを報告 5/28

本別町居住支援協議会総会が5月28日、総合ケアセンターで行われました。鹿島豊隆会長のあいさつに続いて、事務局から前年度の空き家相談会の実施について報告。併せて、空き家所有者向けには空き家の適正管理や町の補助制度を、住む家が必要とする人向けには入居の手続き方法や各種支援策を掲載した、居住支援ガイドブックの発行についても説明がありました。また今年度の事業計画として、空き家等の継続した実態把握に加え、新たに子育て世帯に対する需要調査の実施などが示されました。



「陽だまりの家」の完成祝う 6/4

高齢者向け賃貸住宅「陽だまりの家」（仙美里元町）の落成式が6月4日、同施設で開催され、関係者など約50人が出席し完成を祝いました。落成式では本別町社会福祉協議会の桑田達一会長が「入居者の視点に立った住宅づくりを目指し、検討・審議を重ねた。住みなれた地域でできる限り長く生活できるよう、地域との交流などを通して充実した生活が送れるよう努めてまいります」とあいさつ。続いて、施設の設計・施工者や住宅看板寄贈者、名称当選者に感謝状が贈られ、来賓が祝辞を述べました。個室7部屋を備える同住宅は、併設する小規模多機能型居宅介護事業所「陽だまりの里」のサービスを受けることも可能で、7月下旬から入居開始が予定されています。



篠原一明さんへ 叙勲伝達 6/8

元本別町選挙管理委員会委員長の篠原一明さんが旭日単光章を受賞し6月8日、坂部浩明十勝総合振興局副局長らが北5丁目の自宅を訪問し、入院中の篠原さんに代わり、妻の幸子さんに勲記と勲章を伝達しました。篠原さんは、昭和62年12月から平成15年12月まで本別町選挙管理委員会委員を務め、うち平成3年12月から平成15年12月までの3期12年は同委員長を歴任しました。伝達を受けた幸子さんは「本人が居れば喜んだと思います。受賞は大変ありがたく感謝します」と述べました。



間近で感じる 6/8

北海学園大学文化協会（加賀一郎代表）が主催する地方公演が6月8日、本別中央小学校体育館で行われました。同協会は同校学生で組織され、毎年、道内各地の小学校を巡回し、演劇とバンド演奏を披露。今年で56回目となる公演を、町内3小学校の児童262人が鑑賞しました。間近で見る迫力ある演技と、アニメソングや歌謡曲の生演奏に、児童らは心躍るひとときを過ごしました。



もらい湯が復活 6 17~22

第16回ほんべつ元気学宿（実行委員会主催：山下健司実行委員長）が6月17日から22日までの6日間、中央公民館を主会場に行われました。町内の小学校の3～6年生12人が、毎日下校後に買い物や炊事、洗濯に挑戦したほか、今年は6年ぶりに地域家庭のお風呂を借りる「もらい湯」が復活。児童らは、北海道教育大学釧路校の学生や地域ボランティアらのサポートを受けながら、親元を離れた共同生活を通して仲間への思いやりや感謝する心、協力することの大切さを学びました。



日本文化を体験 6 16

教育委員会が主催する子ども体験教室（全4回）の「小学生生け花体験教室」が6月16日、中央公民館で開かれました。第1回目となる教室には2～5年生の5人が参加。講師の藤岡匡子さん、泉野範恵さんから花の生け方を教わった参加者は、花器にカーネーションやカスミソウなどの色形異なる花を、長さや向きを考えながら生けました。完成した作品は持ち帰り、おうちで家族と一緒に鑑賞しました。



差別解消に向けた マニュアルづくりを審議 6 12

本年度第1回となる本別町健康長寿のまちづくり会議（井出壬午会長）が6月12日、総合ケアセンターで開かれました。会議では介護や保健、障がいなど各福祉分野の担当者が事業執行状況について、出席した16人の委員に報告。続いて障がいの差別解消に関する取り組みについて協議を行い、これまで進めてきた「差別解消支援協議会」の立ち上げや「本別町における障がいを理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」の施行に加え、本年度は各事業所における差別解消に向けたマニュアルづくりや、差別解消の好事例集の作成について審議されました。



こころも体も リフレッシュ！ 6 11

子育て支援センターほんべつが主催する子育てママのためのリフレッシュ講座「エアロピクス」が6月11日、健康管理センターで行われました。インストラクターの小林永枝さんを講師に、乳幼児のママ15人が参加。ストレッチで体をほぐしたあと、音楽に合わせてリズムカルにエクササイズし、楽しく体を動かしながらリフレッシュしました。



コープさっぽろと 地域の見守りを連携 6 12

生活協同組合コープさっぽろ（札幌市）と本別町による「地域見守り活動に関する協定」締結式が6月12日、役場で行われました。この協定は、地域福祉の向上を図るため、高齢者等の孤立防止や安否確認の仕組みを構築するなど見守り活動に関することを定めたもの。高橋正夫町長は「宅配の際の声掛けにより町民とのふれあいができる」と見守り活動への感謝の言葉を述べると、同コープさっぽろの中島則裕専務理事は「安全安心のまちづくりのために、もっと地域でできることを考えたい」と語りました。



自分たちの マーケットを出店 6 15

勇足小学校（濱田和光校長、42人）で「エトセトラマーケット」が6月15日、開催されました。学年の垣根を越えた4つの縦割り班に分かれ、魚釣りゲームやお化け屋敷など、お客さんを楽しませる催しを企画。各班ともに工夫を凝らしたお店紹介を披露した後、児童は仕事をするとお客さんに分かれ、それぞれイベントを楽しみました。同校児童のほかにも、保護者や勇足保育所の年長児32人が訪れ、ともに楽しいひとときを過ごしました。



新教育長就任ごあいさつ

本別町議会臨時会で4月25日、教育長を選任する議案が提出され、前教育委員会教育次長の佐々木基裕氏が新教育長に選任されました。平成23年から2期7年にわたり教育長の任にあたった中野博文氏は5月12日、任期満了により退任いたしました。



本別町教育委員会教育長
佐々木 基裕

このたび、議会の同意をいただき、教育長に就任いたしました。近年、少子高齢化や多様化する社会情勢の中で、教育行政においてもさまざまな課題を抱えていますが、子供たちが自らの人生を切り拓いていける人材に育つよう、また、町民の皆様が芸術や文化、スポーツに親しみ、希望に満ちた暮らしとなりますよう、教育行政を全力で推進してまいります。皆様のご協力、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

任期：平成30年5月12日～平成33年5月11日

新規採用職員の紹介

6月1日付け新採用となった職員を紹介します。
X線を使用したCTや一般装置を用いた検査業務を担当しています。趣味はゲームやアニメ・特撮などに凝っています。日々の検査業務を通して、地域に密着できる医療が提供できるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

帯広市出身、21歳



本別町国民健康保険病院 放射線室
技師 大宅 英功



未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたぐさんの愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



南一丁目
佐々木 朝陽 (美加子ママ)



共栄
西田 練心 (奈美乃ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています



高齢者生きがいクラブでは、高齢者が健康で明るい生活を送り、趣味や交流の場として「陶芸」「民謡」の2つの講座を開催しています。

高齢者生きがいクラブに参加してみませんか?

- ▲陶芸
- ◀民謡

問い合わせ

陶芸：齊 絹子 さん (☎22-3245)
民謡：阿部リツ子 さん (☎22-5558)

ご寄付ありがとうございます

平成30年5月16日から6月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別中学校指定
書画カメラー式

……………本別ライオンズクラブ 会長 砂原 勝

- ★中央公民館指定
タオル 30枚 ……本別町市街地婦人会 代表 橋本文子
マリーゴールド 120株 ……上本別 小笠原 愛
 - ★老人ホーム指定
タオル 50枚 ……本別町市街地婦人会 代表 橋本文子
 - ★消防署指定
ウエス 36枚 ……本別町市街地婦人会 代表 橋本文子
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
計金 3,065,000円 …………… 214人

みんなの健康

407

尿酸について



本別町国民健康保険病院
臨床検査室 技師
成田 祐 輔

尿酸は細胞の核の成分であるプリン体が分解されてできる老廃物です。多くは腎臓でろ過されて排泄されますが、尿酸が過剰に産生される場合や排泄が低下している場合、尿酸値は高値になります。また、尿酸の産生が少なく、尿酸の排泄が少くない場合は低値となります。体内で尿酸の濃度が高い状態が続くと、血液中に溶けきれなくなり、結晶化します。さらに尿酸の高い状態が続くと、その結晶が関節などにたまって炎症が起ります。その状態が痛風となります。

体内の尿酸量が増える主な原因は生活習慣です。プリン体を多く含む食品の過剰摂取や飲酒、肥満、ストレスなどの生活習慣が原因となります。プリン体を多く含む食品としては、肉類や魚介類が挙げられますが、種類

や部位によっては少ないものもあります。アルコール類では、ビールがプリン体の含有量が多いことで知られていますが、肉類や魚介類と比べるとプリン体の含有量は意外と少ないです。しかし、種類に関係なくアルコールはそれ自体の分解の際に尿酸を産生し、また、その時にできる乳酸には尿酸の排泄を阻害する働きがあるため、ビールに限らず、過度の飲酒は尿酸値を上昇させやすくなります。尿酸値を下げるためには、食事からのプリン体の摂取を控えることによります。

尿酸の排泄を促すために十分な水分を摂取することです。また、適度な運動によるストレスの発散など、生活習慣を改善することも重要になります。当院でも尿酸値の測定を実施しております。健康診断などで、ご自身の尿酸値をチェックしてみたい方がいらっしゃいます。

銀河ホップアラウンド

足寄町

足寄動物化石博物館
開館20周年
開町110年記念
北海道150年
記念講演「恐竜研究最前線」



世界の恐竜発掘で活躍し、テレビなどで人気の北海道大学総合博物館・小林快次准教授を講師としてお迎えし、記念講演会を開催します。日本の恐竜研究の

陸別町

第10回ふるさと銀河線 りくべつ鉄道まつり

旧ふるさと銀河線跡地「りくべつ鉄道」を盛り上げようと始まったイベントが今年、10回目を迎えます。

当日は乗車体験が特別運行となり、前夜祭では特別な花火列車も運行します。多彩なイベントで子どもから大人まで楽しめます。



7月21日(土)
7月22日(日)

りくべつ鉄道構内、駅前多目的広場
正午・リコーター・マジックコンサート
午後1時45分～ (大道芸) SEOPPI
午後2時30分～ お笑いステーション
(8・6秒バス・力なご)
午後2時50分～ 大抽選会、もちまき
□問い合わせ 陸別町観光協会事務局
(陸別町役場産業振興課内)
☎2712141 内線1355

8月5日(日)
午後3時～5時

第一線で活躍している小林准教授から、恐竜に関するお話のほか、小学生との対話なども予定しています。ぜひご来場ください。

□ところ あじよる銀河ホール21
□その他 入場無料
□問い合わせ 足寄動物化石博物館
☎2519100

本のある暮らし 208

まちの歴史をもっと身近に

～図書館郷土資料システム～

戸籍のまど

お誕生

5月後半から
6月前半の
届出分

都鳥睦人りく とく 陽 眞 5/11 清流町

小島叶大かな たく 新 眞 希 5/24 南1丁目

杉本音羽おと は 賢 沙知子 6/8 北6丁目

おくやみ

井出良則よし 51歳 5/19 追名牛

唯野 弘ひろ 88歳 5/19 東 町

郡 恒一つねいち 92歳 5/21 栄 町

山田 幸ゆき 89歳 5/26 仙美里元町

佐藤昭次あき 88歳 5/29 北2丁目

嶋崎節子ふみ 91歳 6/1 勇足東1

南部房代ふさよ 87歳 6/8 勇足西5

野原きみ子きみこ 88歳 6/9 栄 町

綱島公德のり 68歳 6/14 仙美里3

高橋富夫とみ 80歳 6/15 清流町

7月1日から、本別町の歴史情報をインターネットで公開する郷土資料システム「ふるさとぱすぽーと」がスタートします。今まで図書館内での利用に限られていた「ふるさと歴史事典」のデータをピックアップし、どこでも気軽に町の歴史を調べられるしくみです。



ふるさとって呼んでね!

年表ボタンをクリック

ここに注目!
興味のあるテーマから年表を作ることができます

※イメージ画像(実際と異なる場合があります)

わたしたちのまち

前月比
人口 7,136人(-2)
男 3,490人(+2)
女 3,646人(-4)
世帯数 3,698戸(+5)
〔5月末日住民基本台帳〕

◆第1段階として「年表」を中心に町史を紹介します。「本別空襲」などの特徴的な事項は、写真や詳しい説明を掲載。今後、随時情報を追加し、充実させていく予定です。「こんなことを知りたい」という皆さんからのご意見も、お待ちしております。

◆まずは、ここからふるさとの歴史に触れてみませんか?
→ **ホームページ** <https://furupass.jp/honbetsu/>

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112